



美濃加茂市立太田小学校だより 第1号

大銀杏



4月号 令和5年4月7日 発行

～太田小学校は「FROM-0歳プラン2」を大切にした教育活動を進めています～



開校 百五十年目へ

校長 梅村 高志

■春の穏やかな陽ざしとともに、太田小学校の新年度が始まりました。例年より早い桜の開花が、新入生80人を含めた全校児童549人の新たなスタートを今か今かと催促しているようです。

保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級誠にありがとうございます。職員一同、心よりお祝い申し上げます。



■百五十年という歴史の重み

本校は明治6年4月に「全国通番、第二大学区三十番中学校区第五十三番小学校」として祐泉寺を仮校舎とし「明道義校」として開校したのが始まりとされ、今年度150周年を迎えます。

学校沿革誌には「始メ民家ヲ以テ校舎ニ当テ明道義校ト称セリ」とあります。この民家は、第二代太田町長となった林五郎氏の住宅で、その後、祐泉寺、万尺寺と移ったと記されています。

〈太田小学校百年史より〉

■学校の教育目標『豊かな心を持ち 心身ともに たくましい子』の具現

長い歴史を越えてなお脈々と受け継がれる不易の精神が教育目標です。そこに込められた願いを「人間力を磨くことを基盤に、社会の変化を見据えながら、逆境にも負けることなく新たな時代を生き抜く力の育成」ととらえ、保護者・地域（郷里）・学校が一体となって太田っ子の健やかな成長を見守ることを切に願うものです。

私たち教職員は、この学び舎が子供たちにとって生涯忘れることのない大事な母校となるよう、また、郷里の先達が追い求めた崇高な志を受け継いで、次のような学校づくりに努めます。



開校当時の明道義校(祐泉寺)
写真右端建物(12帖位)

- ◇ 「相手意識」をもち「信頼関係」で結ばれた学校
- ◇ 「褒め心」のあふれる学校
- ◇ 自分の力で歩む「たくましさ」を育む学校
- ◇ 「ふるさと」を大事にする学校

令和5年度も、皆様方の変わらぬご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。